

コラボレーション エンドポイント ソフトウェア CE9.3
2018 年 4 月



スタートアップ ガイド

DX、MX、SX、および Room シリーズ用

シスコ製品をお選びいただきありがとうございます。

お使いのシスコ製品は、長年にわたり安全かつ信頼できる操作を行えるよう設計されています。

製品マニュアルのこの部分は、コラボレーション エンドポイント ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence 製品のセットアップを処理する管理者を対象としています。

主な目的は、ユーザの目標とニーズに対応することです。このガイドについてのご意見、ご感想をお聞かせください。

定期的にシスコ Web サイトにアクセスし、このガイドの最新版を入手するようお勧めします。

ユーザ マニュアルは次の URL から入手できます。
[▶ https://www.cisco.com/go/telepresence/docs](https://www.cisco.com/go/telepresence/docs)

本ガイドの使用法

本書上部のメニュー バーと目次の各項目には、ハイパーリンクが設定されています。クリックすると、そのトピックに移動できます。

目次

はじめに	3	設定：セットアップ アシスタント	19
このガイドについて	4	セットアップ アシスタント	20
システムの設定方法	5	コール サービスに登録	21
ユーザ インターフェイス	6	タイムゾーンの設定	23
Web インターフェイス	7	画面の解像度の設定	24
TRC6 リモート コントロール	8	デフォルトのカメラ位置の設定	25
ホーム画面と Touch コントローラ	9	音量を調整する	26
設定とシステム情報	10	オーバースキャン設定	27
[設定 (Settings)]メニュー	11	その他の設定	28
設定：Web インターフェイス	12	設定メニューでの設定	29
Web インターフェイス	13	DX70、DX80、および Room シリーズでの Wi-Fi	30
プロビジョニング設定	14	IP 設定	31
IP 設定	15	付録	32
H.323 および SIP の設定	17	Cisco VCS プロビジョニング	33
日時と場所		シスコ Web サイト内のユーザ マニュアル	34
パスフレーズ			



第 1 章 はじめに

このガイドについて

このドキュメントで、ビデオ会議システムの基本設定について説明します。

システムのアセンブリとインストールに関する情報は、製品のインストールガイドをご覧ください。

このガイドの対象となる Cisco TelePresence エンドポイント

DX シリーズ：

- ・ DX70
- ・ DX80

MX シリーズ：

- ・ MX200 G2
- ・ MX300 G2
- ・ MX700
- ・ MX800

SX シリーズ：

- ・ SX10 クイック セット
- ・ SX20 クイック セット
- ・ SX80 コーデック

Room シリーズ：

- ・ Room Kit
- ・ Room Kit Plus (Codec Plus 付き)
- ・ Room 55
- ・ Room 70

注：このガイドでは、Cisco Spark に登録されているシステムについては扱いません。Cisco Spark に登録されているルームデバイスの詳細については、次のリンク先を参照してください。

▶ <https://collaborationhelp.cisco.com> [英語]

ユーザ マニュアル

ユーザ マニュアルは、次のシスコ Web サイトからダウンロードできます。

▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs> [英語]

追加のドキュメンテーションを検索する方法については、付録の ▶ 「シスコ Web サイト内のユーザ マニュアル」を参照してください。

ソフトウェア

ご使用の製品のソフトウェアは、次のシスコ Web サイトからダウンロードできます。

▶ <https://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> [英語]

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL: ▶ <https://www.cisco.com/web/siteassets/contacts> [英語]

システムの設定方法

プロビジョニング システムの使用、または各ビデオ システムの個別設定

プロビジョニングにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のビデオ システムを同時に管理することができます。通常は、各ビデオ システムにプロビジョニング サーバのクレデンシャルを入力するだけで、残りの設定が自動的に行われます。

プロビジョニング システムがない場合は、各ビデオ システムを個別に設定する必要があります。発信できるようにするには、IP アドレスの設定が必要です。また、ネットワークから提供されない場合、SIP/H.323 パラメータも設定する必要があります。正確な時刻と日付も設定します。

プロビジョニング システムがある場合とない場合の基本設定が、本書で説明されています。

ユーザ インターフェイス

Cisco TelePresence ビデオ会議システムの主な操作デバイスは、リモート コントロールまたは Touch コントローラです。リモート コントロールは、SX10 および SX20 のみで利用可能です。

システムがネットワークにすでに接続され、IP アドレスがわかっている場合は、Web インターフェイスを使用してシステムを設定できます。設定の一部は、Touch コントローラやオンスクリーン メニューでも実行できます。

Web インターフェイス、オンスクリーン セットアップ アシスタント、Touch コントローラについては、次の章で説明します。

パスキー

デフォルトの *admin* ユーザ用パスキーは、最初は設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、管理者特権を持つユーザのパスキーを設定する必要があります。これにはデフォルトの管理者ユーザが含まれます。

パスキーの設定方法の詳細については、「[パスキー](#)」、[18 ページ](#) セクションを参照してください。

DX70、DX80、および Room シリーズでの Wi-Fi

Wi-Fi を使用して、DX70、DX80、または Room シリーズのデバイスに接続できます。接続の設定は、初期セットアップ中に行うことも、後ほど設定メニューから行うこともできます。

接続の設定方法の詳細については、「[DX70、DX80、および Room シリーズでの Wi-Fi](#)」、[30 ページ](#) セクションを参照してください。

第 2 章 ユーザ インターフェイス

Web インターフェイス

Web ブラウザのアドレス バーにシステムの IP アドレスを入力して Web インターフェイスにアクセスし、サインインします。ビデオ会議システムはデフォルトのユーザ アカウントが設定された状態で出荷されます。デフォルトのユーザ名は *admin* で、パスワードは設定されていません。

推奨ブラウザ：最新リリースの Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Chrome、Safari。

Web インターフェイスの構成と、Web インターフェイスからアクセスできる設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

システム設定ページ

サインインすると、[セットアップ (Setup)] メニューから [設定 (Configuration)] ページを開くことができます。

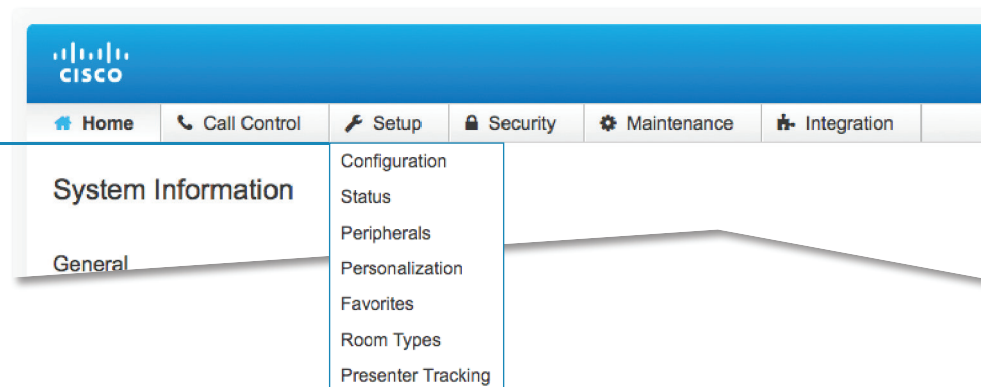
このページから構成時の設定すべてにアクセスできます。次の章で説明する設定は、ここからアクセスできます。

システムの設定を制御するには、[状態 (Status)] セクションを確認します。このセクションは、[セットアップ (Setup)] メニューにあります。

▶ [Web インターフェイスでシステムを設定する方法については、13 ページを参照してください。](#)

[設定 (Configuration)]
サブメニュー

[セットアップ (Setup)] メニューから
[設定 (Configuration)] ページを開くことができます。



TRC6 リモート コントロール

リモート コントロールを手にとると、システムが起動します。

画面の中を移動するには、**方向**キーを使用します。選択したメニュー フィールドを開くには、**OK/Enter** を押します。

変更を実行せずにメニューを終了するには、**キャンセル**キーを使用します ([ホーム (Home)] 画面に戻ります)。**戻る**キーを使用して 1 つ前のステップに戻ります。

リモート コントロールに正常なバッテリー (単 4 形 X 2) が入っていることを確認してください。

システムを初めて起動すると、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

▶ **オンスクリーン セットアップ アシスタントを使用してシステムを設定する方法については、20 ページを参照してください。**

音量コントロールおよび増減コントロール



ホーム画面と Touch コントローラ

システムを初めて起動すると、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。

ホーム画面には、Touch コントローラ、DX70 および DX80 統合タッチ画面、およびリモート コントロールを使用する際の画面上のディスプレイと同じメニューとアクティビティが含まれています。

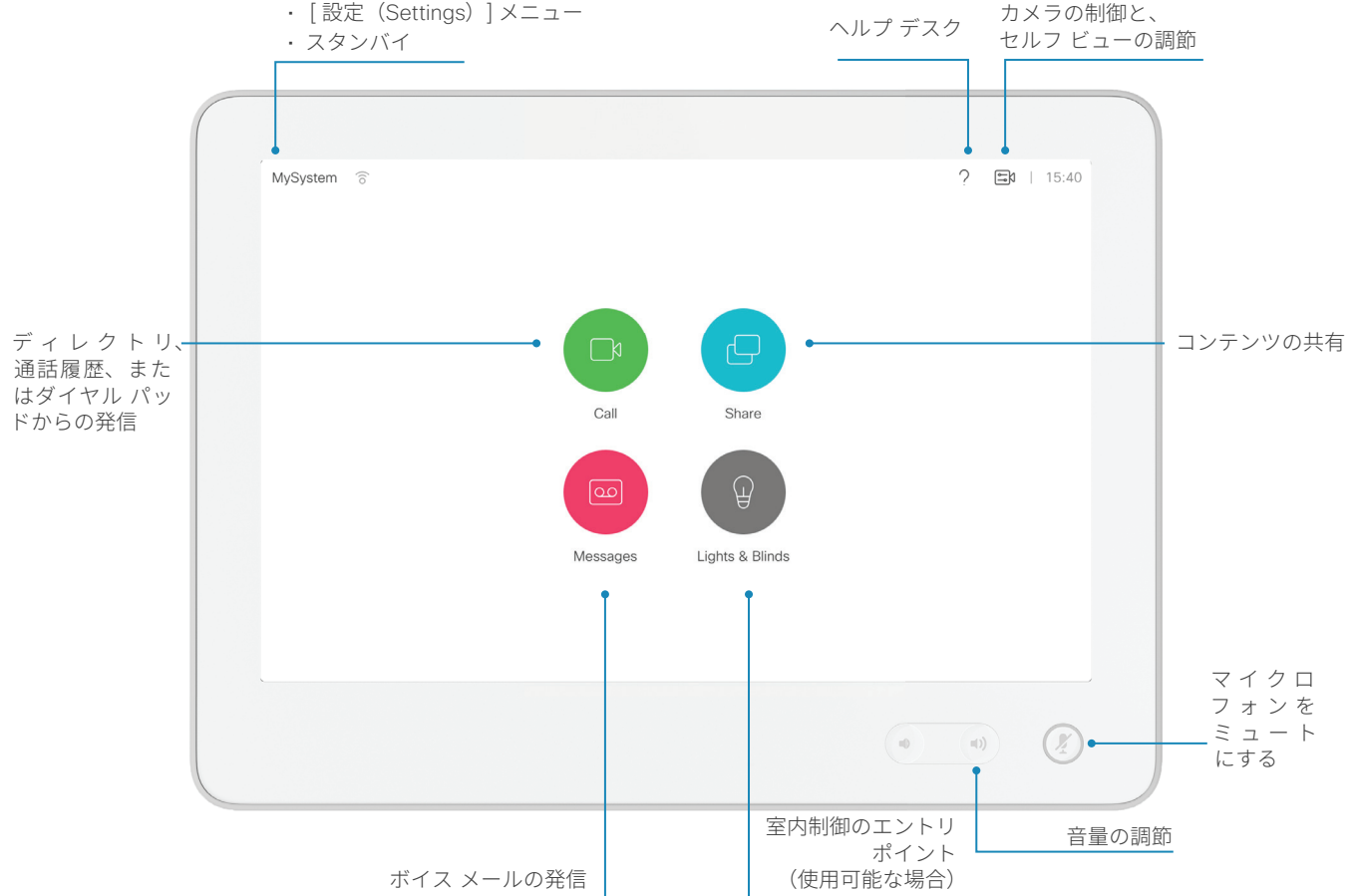
Touch コントローラと使用方法の詳細については、ビデオ会議システムのユーザ ガイドを参照してください。

製品によっては一部の設定が利用できないため、以下に示すタッチ ボタンはシステムによって存在する場合としない場合があります。

▶ オンスクリーン セットアップ アシスタントを使用してシステムを設定する方法については、20 ページを参照してください。

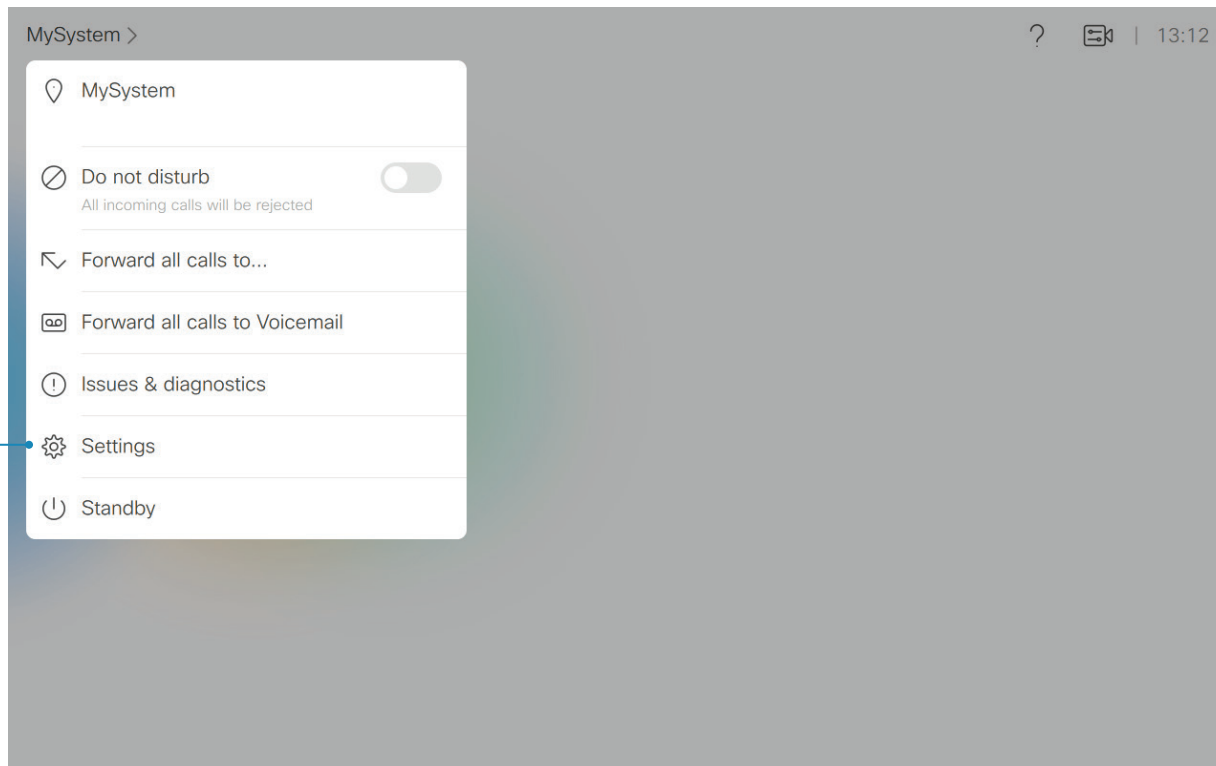
この部分に次の情報が表示されます。

- ・ プロキシミティ
- ・ 応答不可
- ・ コールを転送する
- ・ [設定 (Settings)] メニュー
- ・ スタンバイ



設定とシステム情報

[設定 (Settings)] メニューにアクセスしてデバイス情報を検索するには、画面の左上隅に移動します。次に [設定 (Settings)] に移動します。



[設定 (Settings)] メニュー

製品によっては一部の設定が利用できないため、右に示すメニュー項目はシステムによって存在する場合としない場合があります。

これらの設定の一部はロックされていますが、管理者のユーザ名とパスワードを入力することでアクセスできます。

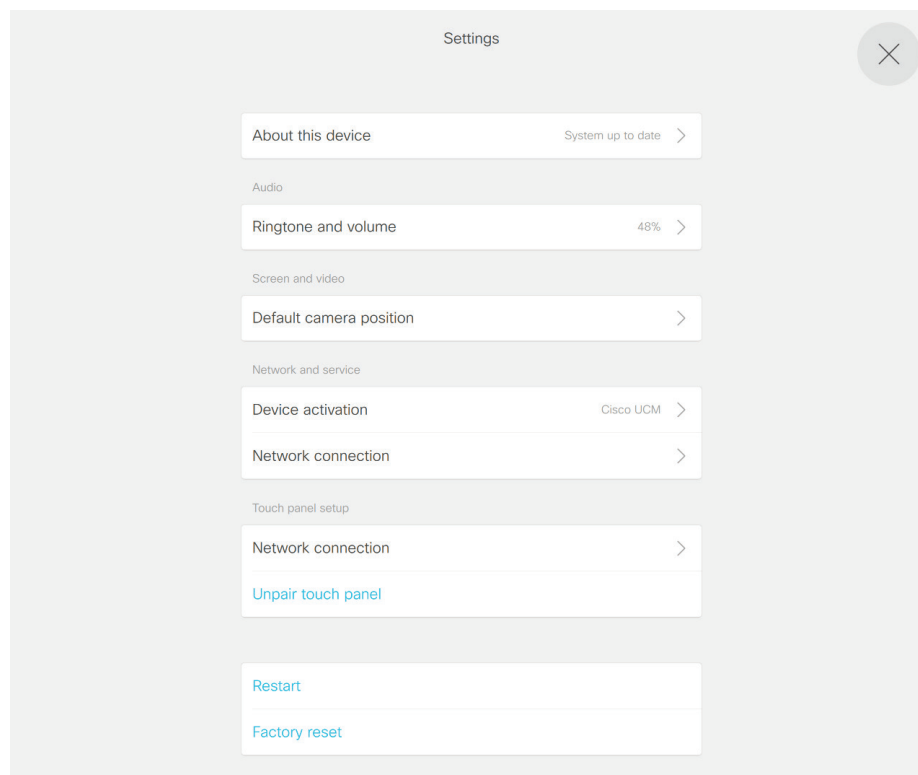
[設定 (Settings)] メニュー

初期設定が完了したら、[設定 (Settings)] メニューの設定などに戻ることができます。

- ・ [このデバイスについて (About this device)]: 基本的なシステム情報が表示されます。
- ・ [言語 (Language)]: ユーザ インターフェイス用の言語を選択します。
- ・ [タイムゾーン (Time zone)]: ローカル タイムゾーンを選択します。
- ・ [画面の調整 (Screen adjustment)]: ビデオやグラフィックが正しくレンダリングされるようにディスプレイとシステムの設定を調整します。*
- ・ [Bluetooth]: Bluetooth ヘッドセットに接続します。
- ・ [着信音とボリューム (Ringtone and volume)]: デフォルトのボリューム レベルを設定し、着信音を選択します。
- ・ [マイクの確認 (Microphone check)]: マイクが機能していることをテストします。外部マイクを使用する場合は、このテストを使用してマイクの設置場所を調整します。
- ・ [ネットワーク接続 (Network connection)]: 自動プロビジョニングかネットワークにより IPv4 設定がなされていない場合、IPv4 設定を変更します。VLAN の設定も行えます。
- ・ [ネットワーク セットアップ (Network setup)]: 自動プロビジョニングまたはネットワークによって設定が行われていない場合、IPv4 の設定を変更します。VLAN と Wi-Fi の設定を行うこともできます。**
- ・ [デバイスの有効化 (Device activation)]: 自動プロビジョニングによって設定が行われていない場合、プロビジョニングの設定を変更します。
- ・ [デフォルト カメラ位置 (Default camera position)]: 今後の通話で使用するデフォルトのカメラ位置を設定します。
- ・ [別のシステムに対してペアリング (Pair against another system)]: リモートでペアリングされている Touch 10 コントローラを別のシステムに対してペアリングします。
- ・ [再起動 (Restart)]: デバイスを再起動します。
- ・ [工場出荷時の設定 (Factory settings)]: ビデオ システムを工場出荷時の設定にリセットします。現在の登録は失われます。工場出荷時の初期設定へのリセット操作を元に戻すことはできません。

* SX10、SX20、Room Kit、および Room Kit Plus のみ。

** DX70、DX80、Room Kit、および Room Kit Plus のみ。



第 3 章

設定 :

Web インターフェイス

Web インターフェイス

システムの IP アドレスがわかるまでは、設定に Touch コントローラからリモート コントロールを使用する必要があります。

この章で説明されている設定は、[管理者設定 (Administrator Settings)] の [Touch コントローラ (Touch controller)] にもあります。このページにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

IP アドレスの確認

Touch コントローラを使用する場合は、左上隅の歯車アイコンをタップして、[設定 (Settings)] をタップします。[システム情報 (System Information)] セクションで IPv4 アドレスや IPv6 アドレスを確認できます。

TRC6 リモート コントロールを使用する場合は、ホーム画面の左上隅に移動して、[システム情報 (System Information)] に移動します。

Web インターフェイスへのサインイン

1. Web ブラウザを開き、アドレス バーにシステムの IP アドレスを入力します。
2. ユーザ名とパスワードを入力し、[サインイン (Sign In)] をクリックします。

デフォルトのユーザ名は *admin* で、パスワードは設定されていません。

システムに接続できない場合：

- ・ システムとコンピュータが同じネットワークに接続されていることを確認します。
- ・ システムのスイッチがオンになっていることを確認します。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分待機します。

General		H323	
Product:	Cisco TelePresence SX80	Status	Inactive
System time:	14:37	Gatekeeper	-
Browser time:	14:37	Number	-
Last boot:	yesterday at 22:58	ID	-
Serial number:			
Software version:	oe 9.3.0	SIP Proxy 1	
Installed options:	Encryption MultiSite RemoteMonitoring MySystem	Status	Registered
System name:		Proxy	
IPv4:		URI	
IPv6:			
MAC address:			
Temperature:	66.7°C / 152.1°F		

プロビジョニング設定

(プロビジョニングシステムを使用している場合)

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、プロビジョニングシステム プロバイダーにお問い合わせください。

個々のプロビジョニング設定の詳細情報については、製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. [セットアップ (Setup)] タブに移動し、[設定 (Configuration)] をクリックします。
 2. 左カラムの [プロビジョニング (Provisioning)] 設定を開きます。
 3. [モード (Mode)] ドロップダウン リストからプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
 - ・ TMS – Cisco TelePresence Management System (SX10 では利用できません)
 - ・ VCS – Cisco Video Communication Server
 - ・ CUCM – Cisco Unified Communications Manager
 - ・ [自動 (Auto)] - システムは VCS、TMS、CUCM の順にプロビジョニングを開始します。
 - ・ [エッジ (Edge)] - Expressway 経由の CUCM
- [オフ (Off)] を選択した場合、すべての設定を手動で設定する必要があります。

値の設定を変更した場合、変更を確定するには必ず [保存 (Save)] をクリックする必要があります。

必要なプロビジョニング パラメータの設定

設定が必要なパラメータは、選択したインフラストラクチャによって異なります。

TMS

1. Cisco TMS を使用してビデオ システムを認証することが必要になる場合があります。その場合、それぞれの入力フィールドに [ログイン名 (LoginName)] と [パスワード (Password)] を入力します。
2. Cisco TMS サーバの IP アドレスか DNS 名を、[外部マネージャ (ExternalManager)] という見出しの下にある [アドレス (Address)] 入力フィールドに入力します。*
3. プロビジョニング サービスへの **パス** を、対応する入力フィールドに入力します。

VCS

1. Cisco VCS を使用してビデオ システムを認証することが必要になる場合があります。その場合、それぞれの入力フィールドに [ログイン名 (LoginName)] と [パスワード (Password)] を入力します。
2. Cisco VCS の IP アドレスか DNS 名を、[外部マネージャ (ExternalManager)] という見出しの下にある [アドレス (Address)] 入力フィールドに入力します。*
3. Cisco VCS の SIP **ドメイン** を、対応する入力フィールドに入力します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の「[Cisco VCS プロビジョニング](#)」を参照してください。

Unified Communications Manager

CUCM プロビジョニング サーバの IP アドレスか DNS 名を、[外部マネージャ (ExternalManager)] という見出しの下にある [アドレス (Address)] 入力フィールドに入力します。*

CUCM プロビジョニングの設定に関する詳細については、『[Administering CE endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

Expressway 経由の CUCM**

Expressway サービス経由で CUCM を注文したときに受け取った、ユーザ名、パスワード、ドメイン名を使用します。

1. [ログイン名 (LoginName)] 入力フィールドにユーザ名を入力します。
2. [パスワード (Password)] 入力フィールドにパスワードを入力します。
3. [外部マネージャ (ExternalManager)] という見出しの下にある [ドメイン (Domain)] 入力フィールドにドメイン名を入力します。

場合によっては、手動で Expressway アドレスを入力する必要があります。[外部マネージャ (ExternalManager)] という見出しの下にある [アドレス (Address)] 入力フィールドに、注文したときに受け取ったアドレスを入力します。

* 外部マネージャ アドレスを自動的に提供するように DHCP サーバをセットアップできます (TMS の場合はオプション 242、UCM の場合はオプション 150)。ここで設定を入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

** Expressway 経由の CUCM がビデオ システムのプロビジョニング オプションとして表示されるようにするには、暗号化オプション キーをインストールする必要があります。

IP 設定

(プロビジョニング システムで設定しない場合)

お使いのビデオ会議システムは、IP バージョン 4 (IPv4)、IP バージョン 6 (IPv6)、および DUAL (デフォルト設定) をサポートしています。どの場合でも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。[デュアル(Dual)] に設定すると、ネットワーク インターフェイスはどちらの IP バージョンでも動作でき、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方を持つことができます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

デュアル モードの IP 設定を手動で設定する場合、IPv4 設定と IPv6 設定の両方を設定する必要があります。手順のステップ 2 から開始します。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの IP 設定はプロビジョニング システムによって上書きされることがあります。

IPv4 アドレスか IPv6 アドレスがシステムにすでに割り当てられている場合、[システム情報 (System Information)] ページで確認できます。[セッ ト ア ッ プ (Setup)] タブ に 移 動 し、[状 態 (Status)] と [ネッ ト ワー ク (Network)] を選択します。

注: Web インターフェイスや、リモートにペアリングされている Touch コントローラを使用して IP アドレスを手動で変更することは推奨されません。

値の設定を変更した場合、変更を確定するには必ず [保存 (Save)] をクリックする必要があります。

IPv4 設定の設定と変更

[セッ ト ア ッ プ (Setup)] タブ に 移 動 し、[設 定 (Configuration)] をクリックします。

1. IP バージョンの選択

左側のサイドバーにある、[ネットワーク (Network)] 設定をクリックします。[IPStack] ドロップダウン リストから [IPv4] を選択します。

2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv4] セクションまでページを下にスクロールし、[割り当て (Assignment)] ドロップダウン リストから、自動 IP 割り当てを選択する場合は [DHCP] を、手動で IP アドレスを設定する場合は [静的 (Static)] を選択します。

3. IP 割り当てを手動で設定する場合

アドレス、ゲートウェイ、サブネット マスクを [IPv4] セクションの対応する入力フィールドに入力します。

[DNS] セクションまで上にスクロールし、[サーバ 1 アドレス (Server 1 Address)] 入力フィールドに DNS サーバのアドレスを入力します。

* [IP 割り当て (IP Assignment)]: [DHCPv6]: DNS サーバのアドレスや NTP サーバのアドレスなどのオプションを含むすべての IPv6 アドレスが、DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。[自動設定 (Autoconf)]: システムとゲートウェイの IP アドレスが自動的に割り当てられます。NTP サーバのアドレスや DNS サーバのアドレスなどのオプションは、[DHCP オプション (DHCP Options)] 設定を基に、設定または割り当てる必要があります。[静的 (Static)]: システムとゲートウェイの IP アドレスを手動で設定する必要があります。NTP サーバのアドレスや DNS サーバのアドレスなどのオプションは、[DHCP オプション (DHCP Options)] 設定を基に、設定または割り当てる必要があります。**

IPv6 設定の設定と変更

[セッ ト ア ッ プ (Setup)] タブ に 移 動 し、[設 定 (Configuration)] をクリックします。

1. IP バージョンの選択

左側のサイドバーにある、[ネットワーク (Network)] 設定をクリックします。[IPStack] ドロップダウン リストから [IPv6] を選択します。

2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

[IPv6] セクションまでページを下にスクロールし、ネットワーク要件に従って [DHCPv6]、[自動設定 (Autoconf)]、または [静的 (Static)] を [割り当て (Assignment)] ドロップダウン リストから選択します。*

3. IP 割り当てを [静的 (Static)] に設定した場合: IP アドレスの設定

[アドレス (Address)] 入力フィールドにシステムの IP アドレスを入力します。オプション: [ゲートウェイ (Gateway)] 入力フィールドにゲートウェイアドレスを入力します。

4. IP 割り当てを [静的 (Static)] が [自動設定 (Autoconf)] に設定した場合: [DHCP オプション (DHCP Options)]

[DHCP オプション (DHCP Options)] ドロップダウン リストから、ネットワーク要件に従って [オン (On)] または [オフ (Off)] を選択します。**

5. [DHCP オプション (DHCP Options)] を [オフ (Off)] に設定した場合: DNS と NTP の設定

[DNS] セクションまで上にスクロールし、[サーバ 1 アドレス (Server 1 Address)] 入力フィールドに DNS サーバのアドレスを入力します。

左側のサイドバーから [ネットワーク サービス (Network Services)] 設定を開き、[NTP] セクションまで下にスクロールします。[サーバ 1 アドレス (Server 1 Address)] 入力フィールドに NTP サーバのアドレスを入力します。[モード (Mode)] を [自動 (Auto)] に設定します。

** [DHCP オプション (DHCP Options)]: [オン (On)]: IP パラメータ (DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど) は DHCPv6 サーバから自動的に取得されます。[オフ (Off)]: IP パラメータ (DNS サーバや NTP サーバのアドレスなど) を手動で設定する必要があります。

H.323 および SIP の設定

(プロビジョニング システムで設定しない場合)

オンラインにして発信を送受信できる状態にするには、システムを正しく設定する必要があります。お使いのシステムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

システムを診断すると、H.323 または SIP の登録に問題があるかどうかを確認できます。

もう一方の H.323 設定か SIP 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

Cisco TMS (Cisco TelePresence Management Suite) を使用して管理されているネットワークの場合、オンラインになるように Cisco TMS の管理者がサポートします。

Cisco UCM を使用した管理の詳細については、『[Administering CE endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者かサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [セットアップ (Setup)] タブに移動し、[設定 (Configuration)] を選択します。
2. 左側のサイドバーから [H323] 設定を開きます。
3. *E164* と *ID* 番号を [H323 エイリアス (*H323Alias*)] の見出しの下の対応する入力フィールドに入力します。
4. ゲートキーパー アドレスを、対応する入力フィールドに入力します。
5. H.323 ゲートキーパーに認証が必要で、システムが自身をゲートキーパーに対して認証するように設定するには、[認証 (Authentication)] の副見出しに移動し、[モード (Mode)] ドロップダウン リストから [オン (On)] を選択します。次に、ログイン名とパスワードを、対応する入力フィールドに入力します。それ以外の場合は、[モード (Mode)] ドロップダウン リストから [オフ (Off)] を選択します。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者かサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. [セットアップ (Setup)] タブに移動し、[設定 (Configuration)] を選択します。
2. 左側のサイドバーから [SIP] 設定を開きます。
3. SIP URI を [URI] 入力フィールドに入力し、必要に応じて、表示名を [表示名 (DisplayName)] 入力フィールドに入力します。
4. [デフォルトのトランスポート (DefaultTransport)] ドロップダウン リストから、使用するトランスポート プロトコルを選択します。[自動 (Auto)] を選択した場合、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試行します。
5. [タイプ (Type)] ドロップダウン リストから、プロキシのタイプを選択します。デフォルト タイプは [標準 (Standard)] です。CUCM に登録すると、[Cisco] を使用できます。
6. プロキシ 1 アドレスを、対応する入力フィールドに入力します。
7. SIP プロキシに認証が必要な場合、システムを認証するためのログイン名とパスワードを入力する必要があります。[認証 (Authentication)] 見出しに移動して、対応する入力フィールドにユーザ名とパスワードを入力します。

値の設定を変更した場合、変更を確定するには必ず [保存 (Save)] をクリックする必要があります。

日時と場所

(プロビジョニング システムで設定しない場合)

ビデオ会議システムをセットアップする際は、日時の設定が正しいか確認するようお勧めします。たとえば、システムはこの情報を使用して、ゲートキーパーなどのネットワーク要素に送信されるメッセージにタイム スタンプを適用します。

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、これらの設定はプロビジョニング システムによって上書きされることがあります。

1. [セットアップ (Setup)] タブに移動し、[設定 (Configuration)] を選択します。左カラムの [時刻 (Time)] 設定を開きます。
2. 使用する日付形式、時刻形式、タイム ゾーンを、対応するドロップダウン リストから選択します。
3. 左側のサイドバーから [ネットワーク サービス (Network Services)] 設定を開きます。
4. [NTP (NTP)] セクションの下の [モード (Mode)] ドロップダウン リストから、[自動 (Auto)]、[手動 (Manual)]、または [オフ (Off)] を選択します。*
 - a. [手動 (Manual)] を選択した場合は、NTP サーバのアドレスを [アドレス (Address)] 入力フィールドに入力します。
 - b. [オフ (Off)] を選択した場合は、Touch コントローラ ([設定 (Settings)] > [管理者 (Administrator)] > [日時と場所 (Date, Time & Location)]) の順に移動) かコマンドライン インターフェイス (xCommand Time DateTime 設定) から、日時を手動で入力する必要があります。
5. 時刻設定を確認するには、[セットアップ (Setup)] に移動し、[状態 (Status)] をクリックします。左側のサイドバーから [時刻 (Time)] の状態を開きます。

値の設定を変更した場合、変更を確定するには必ず [保存 (Save)] をクリックする必要があります。

* NTP モード: [自動 (Auto)]: 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバのアドレスはネットワークから自動取得されず (DHCP)。[手動 (Manual)]: 時刻は NTP サーバにより定期的に更新されます。NTP サーバのアドレスを手動で入力する必要があります。[オフ (Off)]: 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

パスワード

システムの Web インターフェイスやコマンドライン インターフェイスにサインインするには、ユーザ名とパスワードが必要です。Touch コントローラの管理者設定や詳細設定にアクセスする場合も、システム パスワードが必要です。

ビデオ会議システムはデフォルトのユーザ アカウントが設定された状態で出荷されます。デフォルトのユーザ名は **admin** で、パスワードは設定されていません。このユーザにはシステムへのフルアクセス権があります。

注：デフォルトの **admin** ユーザ用パスワードは、最初は設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、管理者特権を持つユーザのパスワードを設定する必要があります。これにはデフォルトの管理者ユーザが含まれます。

パスワードを設定するまで、システム パスワードが設定されていないことを示す警告が画面に表示されます。

パスワードのコピーを安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、ユニットを初期設定にリセットする必要があります。

システム / コーデックのパスワード設定

注：システム設定へのアクセスを制限するために、**admin** ユーザにパスワードを設定することを強く推奨します。

1. 右上隅のユーザ名をクリックし、[パスワードの変更 (Change Passphrase)] を選択します。
2. [現在のパスワード (Current passphrase)] と新しい [パスワード (Passphrase)] を入力して、対応する入力フィールドに新しいパスワードを再入力します。
パスワードの形式は、0 ~ 64 文字の文字列です。
パスワードが設定されていない場合は、[現在のパスワード (Current passphrase)] フィールドに空白スペースを使用します。
3. [パスワードの変更 (Change Passphrase)] をクリックします。

第 4 章 設定： セットアップ アシスタント

セットアップ アシスタント

システムを初めて起動すると、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。リモート コントロールかタッチ スクリーンを使用して、セットアップ画面を移動できます。

発信できるようにするには、システムに IP アドレスが必要で、そのアドレスをサービスに登録する必要があります。システムが自動的にプロビジョニングされる場合、IP とコール サービス設定は自動的に設定されます。

お使いのデバイスが Wi-Fi をサポートしている場合は、初回のセットアップ中にネットワークに接続するためのオプションが表示されます。接続の設定方法については、30 ページの「DX70、DX80、および Room シリーズでの Wi-Fi」を参照してください。

注：このガイドでは、Cisco Spark に登録されているシステムについては扱いません。Cisco Spark ルーム システムの詳細については、次のリンク先を参照ください。

▶ <https://collaborationhelp.cisco.com> [英語]

初期設定後の設定へのアクセス

ホーム画面の左上隅にあるデバイス名を選択して、[設定 (Settings)] に移動します。変更したい設定を選択します。

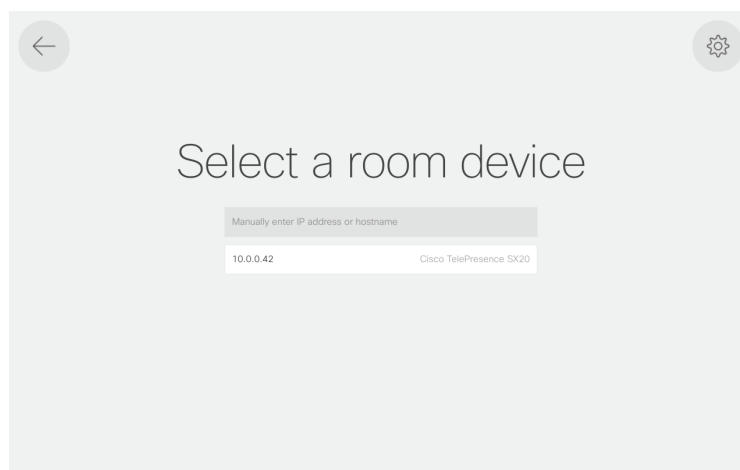
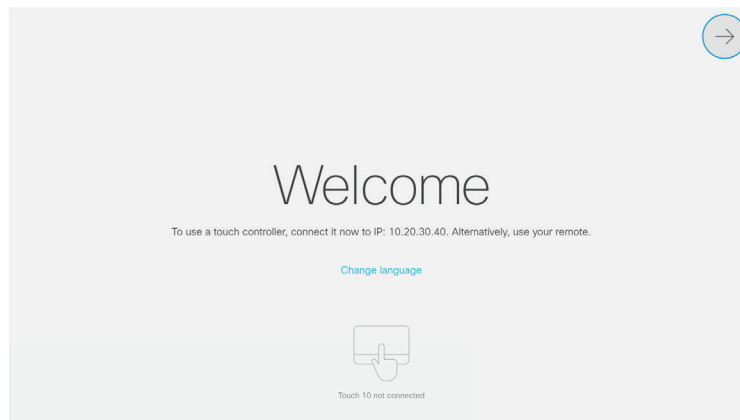
外部画面にイメージが表示されない場合

メニューが画面に表示されない場合は、次のことを確認します。

- ・ 画面が接続されており、スイッチがオンになっていること。
- ・ 画面で正しい入力を選択されていること。
- ・ リモート コントロールにバッテリーが入っていること。
- ・ システムのスイッチがオンになっていること。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分待機します。

それでもオンスクリーン メニューが表示されない場合は、モニター ケーブルがビデオ出力コネクタに接続されていることを確認します。ご不明な点がある場合は、製品のインストールガイドを参照してください。



Touch 10 コントローラの場合は、システムのセットアップ開始時にデバイスに対してペアリングするためのオプションを選択できます。

コール サービスに登録

(プロビジョニング システムを使用している場合)

システムが自動的にプロビジョニングされる場合、IP 設定やプロビジョニング設定は自動的に設定されるので、セットアップアシスタントはこれらの手順をスキップします。

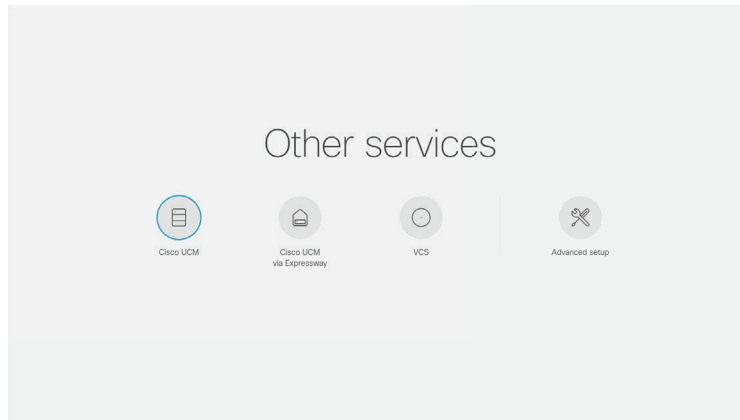
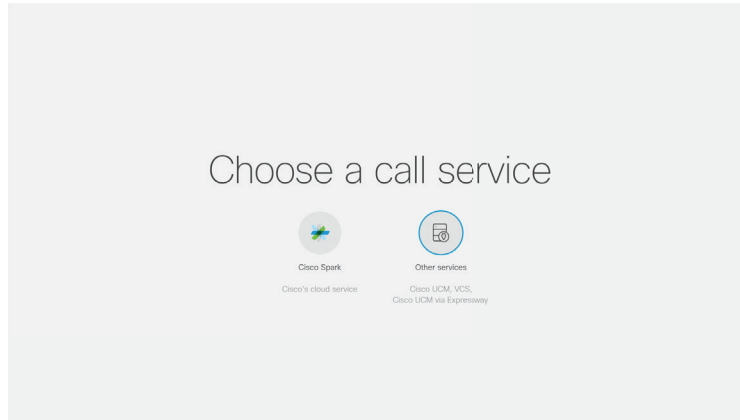
プロビジョニング インフラストラクチャの選択

サポートされている次のオンプレミス プロビジョニング システムのいずれかを選択します。

- ・ Cisco UCM (Cisco Unified Communications Manager)
- ・ Expressway 経由の Cisco UCM
- ・ VCS (Video Communication Server)

詳細セットアップを選択した場合、デバイスはコール サービスへの登録をスキップするため、システムの Web インターフェイスからシステムを登録する必要があります。詳細セットアップオプションは、セットアップアシスタントにのみ表示されます。

初期設定後にこれらの設定を再設定する場合は、ホーム画面のデバイス名に移動して、[設定 (Settings)] > [デバイスの有効化 (Device activation)] を選択します。[サービスの変更 (Change service)] を選択します。



Cisco Unified Communications Manager

必要な情報を取得するには、CUCM 管理者にお問い合わせください。

IP アドレスと DNS 名を [ホスト サーバ アドレス (Host server address)] フィールドに入力し、[OK] を選択して変更を確定します。*

CUCM プロビジョニングの設定に関する詳細については、『[▶Administering CE endpoints on CUCM](#)』ガイドを参照してください。

Expressway 経由の CUCM**

必要な情報を取得するには、CUCM 管理者にお問い合わせください。

ユーザ名、パスワード、ドメインを、対応する入力フィールドに入力します。変更を確定する場合は、常に [OK] を選択します。[適用 (Apply)] を選択して保存します。

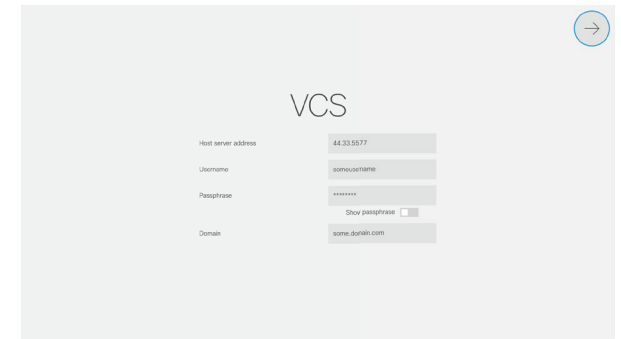
場合によっては、手動で Expressway アドレスを入力する必要があります。[Expressway アドレスを手動で上書き (Manually override Expressway address)] を選択し、注文したときに受け取ったアドレスを [ホストサーバアドレス (Host Server Address)] フィールドに入力します。

VCS

必要な情報を取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。

1. Cisco VCS の IP アドレスと DNS 名を [ホスト サーバ アドレス (Host server address)] に入力し、[OK] を選択して変更を確定します。
2. プロビジョニング サーバでビデオ システムを認証するため、必要に応じて [ユーザ名 (Username)] と [パスワード (Passphrase)] を入力します。[OK] を選択して変更を確定します。
3. SIP の [ドメイン (Domain)] を入力し、[OK] を選択して変更を確定します。
4. [適用 (Apply)] を選択して、変更内容を保存します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の「[▶Cisco VCS プロビジョニング](#)」を参照してください。



* ホスト サーバ アドレスを自動的に提供するように DHCP サーバをセットアップできます (DHCP オプション 150)。ここで設定を入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

** Expressway 経由の CUCM がビデオ システムのプロビジョニング オプションとして表示されるようにするには、暗号化オプション キーをインストールする必要があります。

ビデオ システムが登録されていることを確認するには、ホーム画面の左上隅にある歯車アイコンに移動し、[システム情報 (System information)] を選択します。

タイムゾーンの設定

ビデオ会議システムをセットアップする際は、日時の設定が正しいか確認するようにお勧めします。たとえば、システムはこの情報を使用して、ゲートキーパーなどのネットワーク要素に送信されるメッセージにタイムスタンプを適用します。

1. 地域を選択します。
2. タイムゾーンを選択します。
3. 時刻形式を選択します。12 時間または 24 時間から選択します。



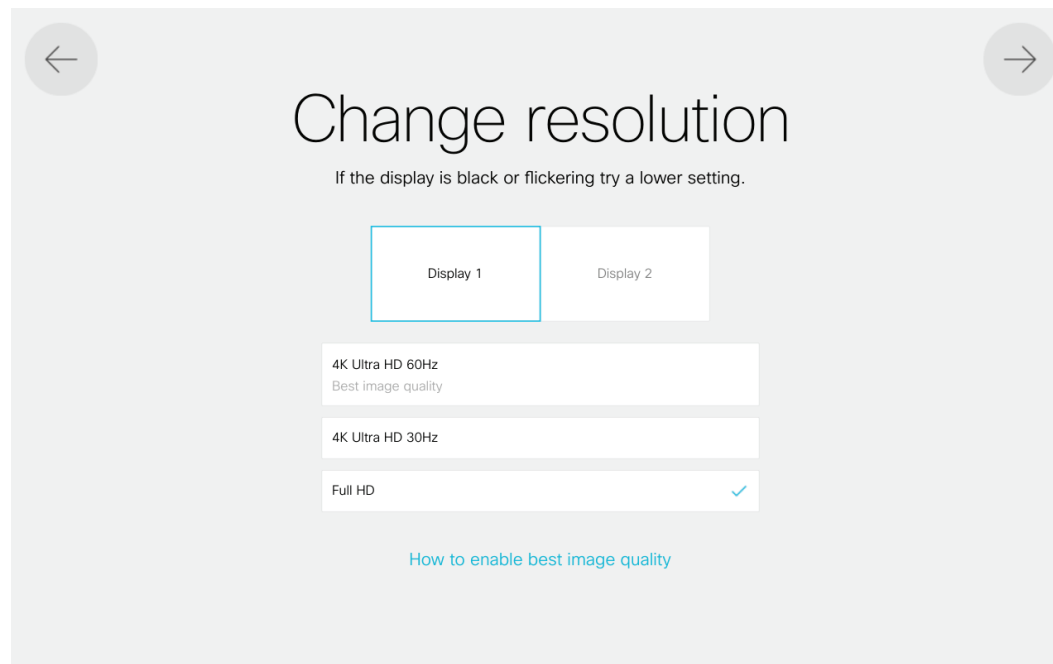
画面の解像度の設定

Room Kit および Codec Plus のみ

4K 画面に接続しているときは、画面のサポート内容に応じて画面の解像度を設定できます。画面が黒になっているか、点滅している場合は、解像度を低い設定にしてください。画面上でサポートされる設定のみが、セットアップ アシスタントで選択可能です。

画面で 4K の解像度がサポートされているにもかかわらず、これを選択できない場合は、次のことを確認してください。

- HDMI 画面用ケーブルが、Ultra HD をサポートする画面の HDMI ポートに接続されていること。
- HDMI Ultra HD の設定が画面でオンに設定されていること。

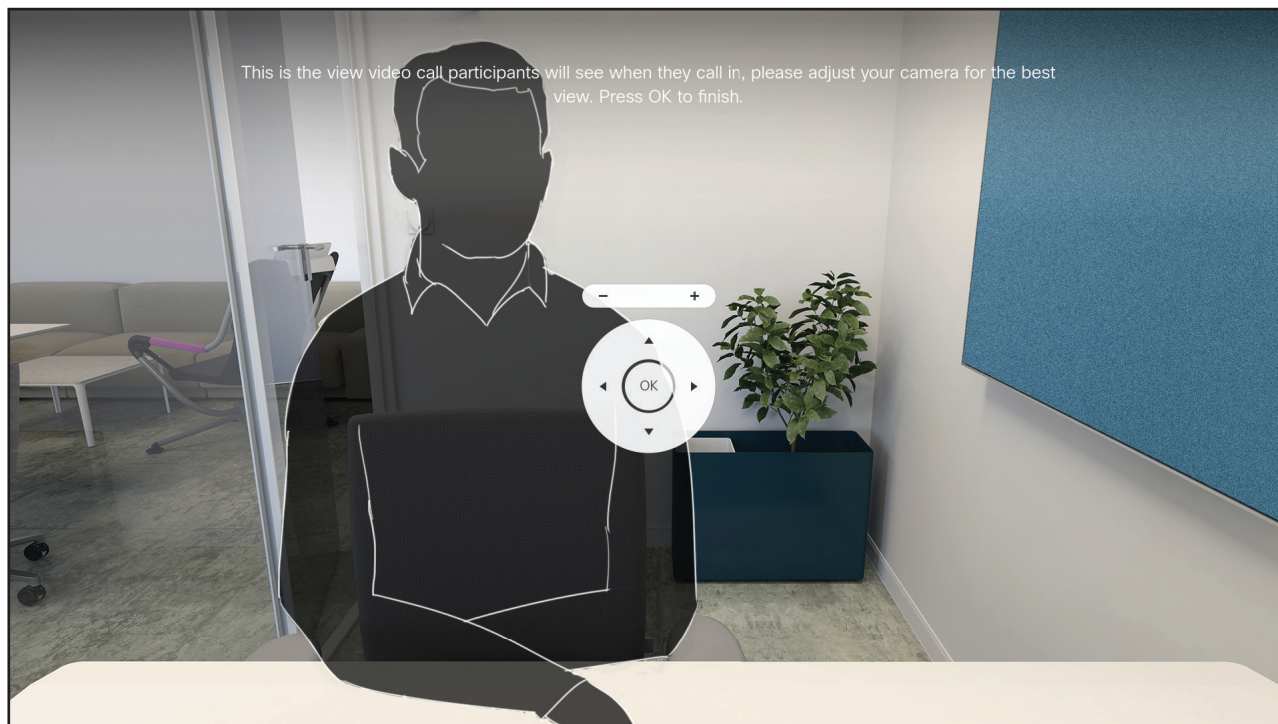


デフォルトのカメラ位置の設定

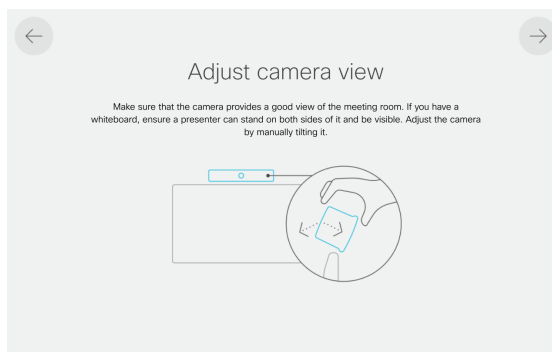
システム起動時のカメラのデフォルトの位置を設定します。

Touch コントローラまたはリモート コントロールで、パンおよびチルト ホイールとズーム ボタンを使用してカメラの位置を調整します。

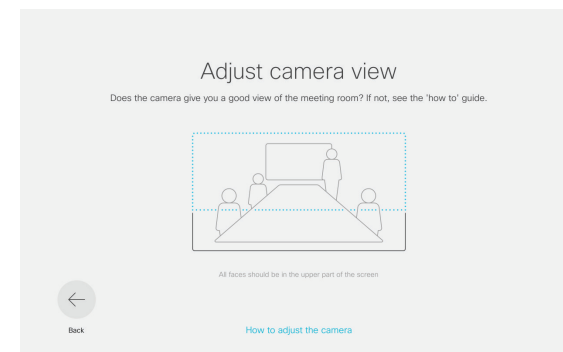
DX70、DX80、Room Kit、および Room Kit Plus では、カメラのチルトは手動で調整する必要があります。



Room Kit を
使用してい
る場合

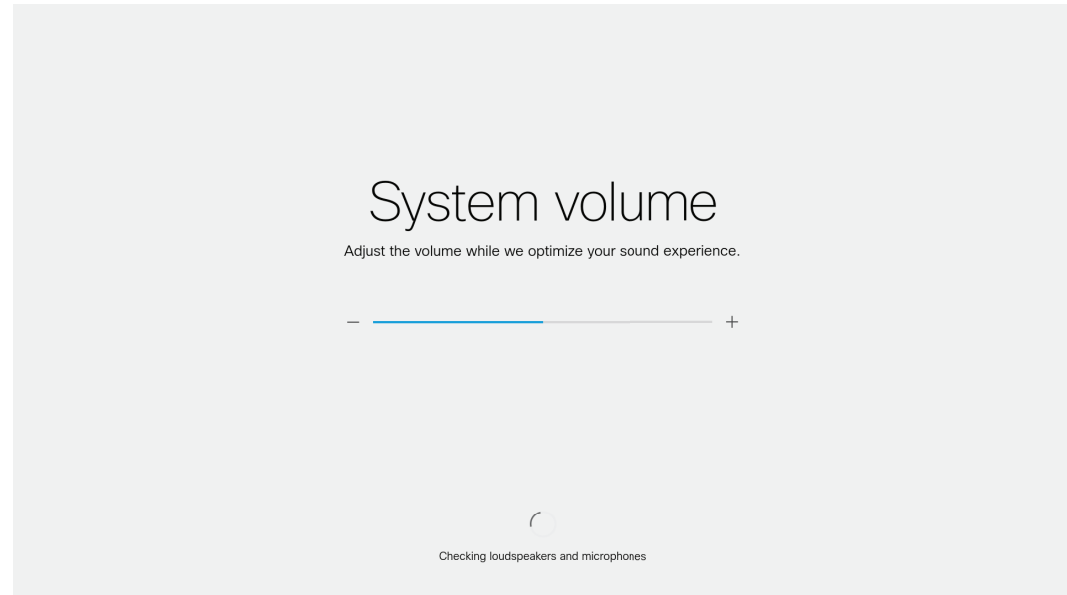


Room Kit
Plus を
使用してい
る場合



音量を調整する

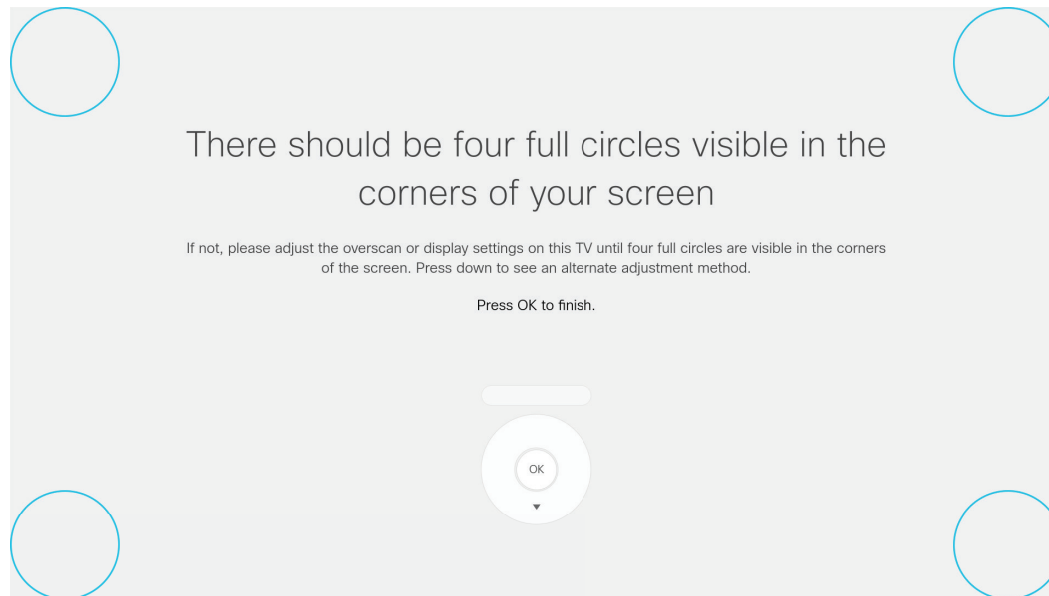
タッチ スクリーンまたはリモート コントロールを使用して、デフォルトのシステム ボリュームと、デバイスの着信音ボリュームを設定します。



オーバースキャン設定

Room Kit および Codec Plus のみ

外部画面上のオーバースキャン設定を最高の画質に調整します。



第 5 章

その他の設定

設定メニューでの設定

システムの起動

Touch コントローラをタップするかリモート コントロールを持ち上げるとシステムが起動します。

システムが起動しない場合

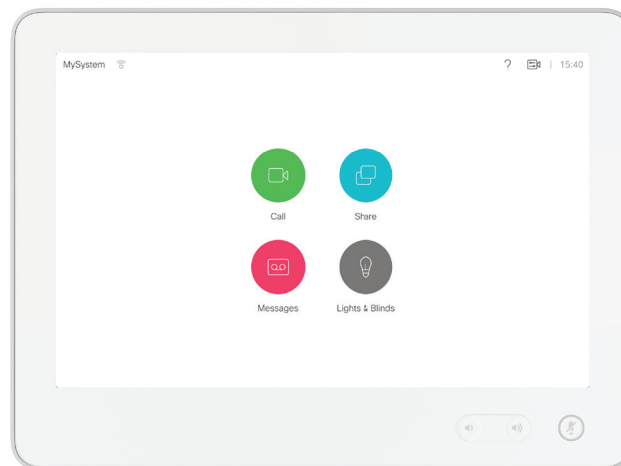
- ・ Touch コントローラがメイン ユニットに接続されていることを確認します。
- ・ メイン ユニットが電源に接続され、スイッチがオンになっていることを確認します。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分待機します。

詳細な手順については、製品のインストレーションガイドと管理者ガイドを参照してください。

Touch コントローラの機能と使用方法の概要については、「[▶Touch コントローラの使い方](#)」を参照してください。

リモート コントロールの概要については、「[リモート コントロールの概要](#)」を参照してください。



DX70、DX80、および Room シリーズでの Wi-Fi

DX70、DX80、および Room シリーズのデバイスでは、イーサネットまたは Wi-Fi 接続のいずれかを選択できます。Wi-Fi 接続が使用可能な場合、ネットワークの設定は、これらのビデオ システムのセットアップ アシスタントでの最初のステップです。

タッチ インターフェイスで接続のタイプを切り替えることができます。Wi-Fi は、デフォルトで有効になっています。これを有効または無効にするには、システムの Web インターフェイスにログインして、[セットアップ (Setup)] > [設定 (Configuration)] > [ネットワーク サービス (Network Services)] > [WiFi] に移動します。

Wi-Fi に接続する場合は、イーサネット ケーブルを取り外す必要があります。

次の認証タイプを使用できます。

- オープン
- WPA-PSK (AES)
- WPA2-PSK (AES)
- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- [EAP-FAST]
- PEAP
- EAP-MSCHAPv2
- EAP-GTC

ネットワークで WPA-EAP 認証を使用する場合は、デバイスごとに信頼された CA 証明書を追加することをお勧めします。これは、Wi-Fi に接続する前に、それぞれのデバイスで個別に行う必要があります。

注：システムが一度に記憶するネットワークは 1 つのみです。異なるネットワークに変更する場合は、パスワードを再入力する必要があります。

Wi-Fi への接続

1. ホーム画面のデバイス名に移動して、[設定 (Settings)] を選択します。
2. [ネットワーク接続 (Network Connection)] > [Wi-Fi の設定 (Wi-Fi settings)] に移動します。
3. 接続先のネットワークを選択します。
4. ネットワークで認証が必要な場合は、パスフレーズを入力して [接続 (Connect)] を選択します。

WPA-EAP を使用する場合の証明書の追加

1. システムの Web インターフェイスにログインします。
2. [セキュリティ (Security)] > [サービス証明書 (Service Certificates)] に移動します。
3. 必要な証明書を追加します。
4. 追加した証明書の 802.1x を有効にします。

IP 設定

(プロビジョニング システムで設定しない場合)

IP パラメータは、ネットワークで自動的に割り当てられることも、すべて手動で設定することもできます。システムが自動的にプロビジョニングされる場合、手動の IP 設定はプロビジョニングシステムによって上書きされることがあります。

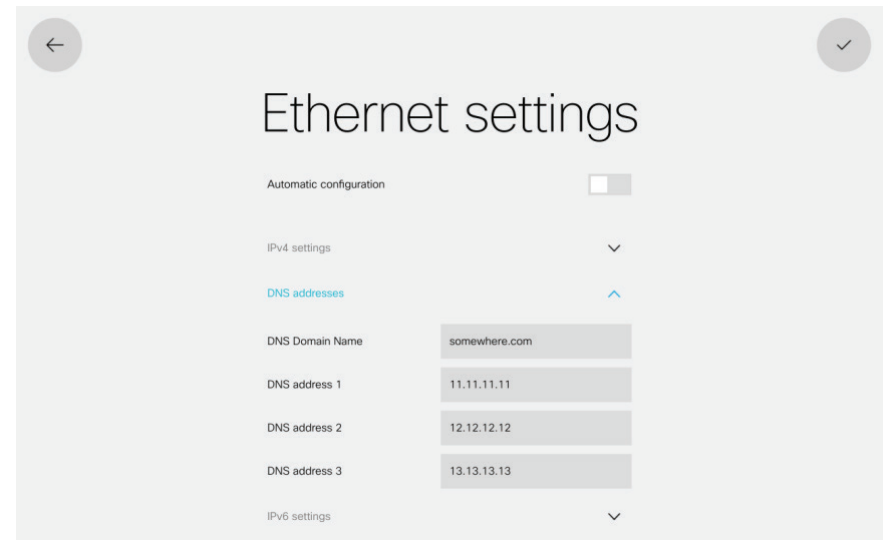
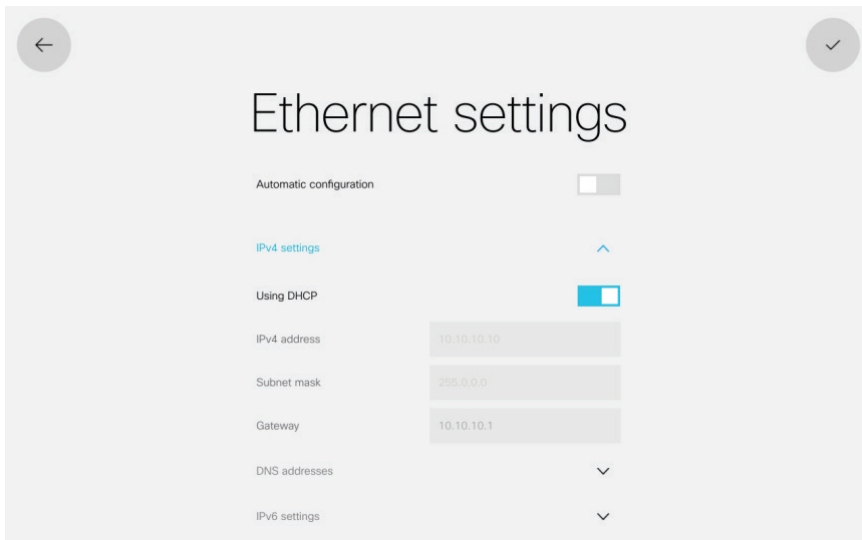
パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IPv4 アドレスがシステムにすでに割り当てられている場合、[システム情報 (System Information)] で確認できます。ホーム画面の左上隅にある歯車アイコンに移動し、[システム情報 (System information)] を選択します。

IP 設定をデフォルトのデュアル スタック設定から IPv4 か IPv6 に変更する場合は、Web インターフェイスから変更できます。IPv6 設定を手動で設定するには、Touch コントローラか Web インターフェイスを使用します。

注：ビデオ システムを初めて起動すると、セットアップ アシスタントが自動的に起動します。IP 設定がネットワークによってすでに設定されている場合、IP 設定はスキップされます。

1. ホーム画面のデバイス名に移動して、[設定 (Settings)] を選択します。[ネットワーク接続 (Network connection)] > [イーサネット設定 (Ethernet Settings)] に移動します。
2. [自動設定 (Automatic configuration)] および [DHCP の使用 (Using DHCP)] をオフにして、手動で IP アドレスを設定します。
3. [IP アドレス (IP Address)]、[サブネットマスク (Subnet Mask)]、および [ゲートウェイ (Gateway)] アドレスを入力します。リモート コントロールを使用する場合に、入力フィールドを選択すると、ソフトウェア キーボードが表示されます。
4. [DNS] セクションに移動し、[DNS サーバ 1(DNS Server 1)] 入力フィールドに DNS サーバのアドレスを入力します。
5. [適用 (Apply)] を選択して、変更内容を保存します。





付録

Cisco VCS プロビジョニング

Cisco VCS (Video Communication Server) プロビジョニングを使用する場合、プロビジョニング可能なすべての設定が含まれているテンプレートを Cisco TMS (TelePresence Management System) にアップロードする必要があります。これは *Cisco TMS* プロビジョニング設定テンプレートと呼ばれます。

このテンプレートには、ビデオ システムの詳細設定がすべて含まれています。[システムユニット名 (SystemUnit Name)] と [SIP プロファイル [1..1] URI (SIP Profile [1..1] URI)] を除くすべての設定をビデオ システムに自動的にプロビジョニングできません。

詳細設定については、お使いのビデオ システムの管理者ガイドを参照してください。

Cisco TMS へのファイルのアップロード方法や、プロビジョニングするパラメータの希望値の設定方法については、『Cisco TMS Provisioning Deployment Guide』を参照してください。Cisco TMS で設定しない場合は、デフォルト値が使用されます。URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/telepresence-management-suite-tms/products-installation-and-configuration-guides-list.html> [英語]

プロビジョニング設定テンプレートのダウンロード

次の URL からテンプレートをダウンロードできます。

DX シリーズ: 『[DX Series Release Notes](#)』

MX シリーズ: 『[MX Series Release Notes](#)』

SX シリーズ: 『[SX Series Release Notes](#)』

Room シリーズ: [Room シリーズのリリース ノート](#) [英語]

ソフトウェア リリースごとに、すべてのビデオ システム モデル用のプロビジョニング設定テンプレートが用意されています。該当するファイルをご確認の上、ダウンロードしてください。

シスコ Web サイト内のユーザ マニュアル

Cisco TelePresence 製品のユーザ マニュアルは次のページから入手できます。

▶ <https://www.cisco.com/go/telepresence/docs> [英語]

リストからコラボレーション エンドポイント製品カテゴリを選択します。次に、製品シリーズを選択します。

- ・ DX シリーズ
- ・ Spark Room シリーズ
- ・ TelePresence MX シリーズ
- ・ TelePresence SX シリーズ

または、次の短いリンクを使用します。

▶ <https://www.cisco.com/go/dx-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/mx-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/roomkit-docs>

▶ <https://www.cisco.com/go/sx-docs>

インストールおよびアップグレード

インストールガイドおよびアップグレード ガイド

- ・ インストールガイド：製品のインストール方法
- ・ スタートアップ ガイド：システムを稼働させるために必要な初期設定
- ・ RCSI ガイド：法規制の遵守および安全上の注意

管理および運用 [英語]

メンテナンスおよび操作ガイド

- ・ スタートアップ ガイド：システムを稼働させるために必要な初期設定
- ・ 管理者ガイド：製品の管理に必要な情報
- ・ CUCM での CE エンドポイントの管理：製品を Cisco Unified Communications Manager (CUCM) とともに使用開始するために実行するタスク

エンドユーザ ガイド

- ・ ユーザ ガイド：製品の使用方法
- ・ クイック リファレンス ガイド：製品の使用方法
- ・ 物理インターフェイス ガイド：コネクタ パネルや LED など、製品の物理インターフェイスに関する詳細情報

設定

コンフィギュレーション ガイド

- ・ 室内制御ガイド：室内制御パネルを設計する方法、ビデオ システムの API を使用して室内制御をプログラムする方法
- ・ 室内制御エディタ：室内制御エディタのダウンロード
- ・ CE および TC コンソール：CE および TC コンソールを使用してオーディオの音声とビデオを設定する方法。

リファレンス ガイド

コマンド リファレンス

- ・ API リファレンス ガイド：アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) のリファレンス ガイド

テクニカル リファレンス

- ・ CAD 図面：測定を使用した 2D CAD 図面

設計

設計ガイド

- ・ ビデオ会議室のガイドライン：会議室の設計とベスト プラクティスに関する一般的なガイドライン
- ・ ビデオ会議室のガイドライン：認識される音声品質の改善方法

ソフトウェアのダウンロード、リリース、および一般的情報 [英語]

リリースノート

- ・ リリース ノートおよび延期の通知

ライセンス情報

- ・ オープン ソースのライセンス：この製品で使用されるオープン ソース ソフトウェアのライセンスと通知

知的所有権

このマニュアルに記載されている製品に関する仕様および情報は予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。製品の使用にあたってのすべての責任は、ユーザー側にあります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『INFORMATION PACKET』に記載されており、これが証明書となります。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している CEP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記供給者は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、あるいは、取り扱い、使用、または取引慣行によって発生するあらゆる保証に関して、明示的、黙示的を問わず責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク ポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

印刷されたハード コピーおよび複製されたソフト コピーは、すべて管理されていないコピーです。最新バージョンについては、オンライン版の原本を参照してください。

シスコは世界各国 200 カ所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices/) をご覧ください。

シスコおよびシスコのロゴは、米国およびその他の国におけるシスコおよびその関連会社の商標を示します。シスコの商標の一覧については、http://www.cisco.com/web/JP/trademark_statement.html をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません (1110R)。

シスコへのお問い合わせ

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL: ▶ <https://www.cisco.com/web/siteassets/contacts> [英語]

本社

Cisco Systems, Inc.

170 West Tasman Dr.

San Jose, CA 95134 USA